

事業所名

東大寺福祉療育病院 華の明
(児童発達支援・放課後デイサービス)

支援プログラム

作成日

R7 年

1 月

20 日

| | | | | | |
|-----------|-----------------|---|---------|---|--|
| 法人（事業所）理念 | | (法人理念) “共に生きよう” “皆で支え合おう” “ひとりひとりが輝けるように” (事業所理念) 生きとし生けるものは だれもが華であるという そのひとりひとりの 華の明で照らされている | | | |
| 支援方針 | | ◎一所懸命生きる重い障がいや医療的ケアがある障がい児者が、家族とともに地域で健やかに暮らせるよう支援します ○華の明では楽しんで(何かを感じて)もらい、親子ともに来て「よかった」と思ってもらえる療育をします ○ともに生きていることに感謝します | | | |
| 営業時間 | | 8 時 45 分から 17 時 30 分まで | 送迎実施の有無 | 一部あり | |
| 支 援 内 容 | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 健康状態のチェックを行い、健康面に留意しながら一人ひとりの身体状況に合わせた環境を設定する さまざまな医療的デバイスに対応し、医療的ケアを必要とする児の健康を維持する 個々の発達段階に合った働きかけをしながら、成長を支援していく | | | |
| | 運動・感覚 | 一人ひとりの身体機能を活かしながら体を動かし、機能向上を目指す 音楽療法などいろいろな感覚刺激に働きかける活動を取り入れる | | | |
| | 認知・行動 | 一人ひとりの発達段階をとらえ、その段階に応じた関わりや介入を行いながら成長発達を促していく 季節にあった行事や体験を取り入れ、それらを通して認知面への働きかけを行っていく | | | |
| | 言語 コミュニケーション | いろいろな人との関わりを通して、コミュニケーション能力の向上を図る 伝わる喜びや伝える楽しさを感じ取れるよう、一人ひとりに応じた表出方法を探っていく | | | |
| | 人間関係 社会性 | 職員との安心した信頼関係を深め、それを基に他者との関係性を広げていけるよう支援する 集団での療育活動を通して他者の存在に気づき、いろいろな人と交わる楽しさを味わえるようにする さまざまな行事や取り組み等を通して、社会とのつながりや経験の幅を広げていく | | | |
| 家族支援 | | ・保護者の方の思いに寄り添いながら、随時相談に応じていく ・保護者向けの研修会等の情報提供を行う | 移行支援 | ・教育機関や関係機関と連携を図るとともに、随時担当者会議やケース会議も行いながら情報共有を密に行いスムーズな移行に努めていく | |
| 地域支援・地域連携 | | ・奈良市地域自立支援協議会、奈良市障がい児通所支援連絡協議会への参加 ・奈良県重心センターとの連携 ・こども園、保育園、幼稚園、特別支援学校との連携や情報共有 | 職員の質の向上 | ・施設(病院)内での研修や各種委員会へ参加、職種ごとの勉強会等を通して資質の向上に努める ・さまざま研修会や講習会などにも参加して研鑽をつむ | |
| 主な行事等 | | ・誕生日会 ・FamilyDay ・遠足 ・避難訓練 ・卒園式 ・病棟との交流 ・季節に応じたイベント | | | |